



駒岡小学校だより

12月号

校章の由来と山吹

校長 松本 稔

校庭側の保健室前、丸く縁石で縁取られた場所があります。その場所を見て疑問をもったある児童から、「この丸い部分は何ですか？」と質問されたことがありました。あまり深く考えずに、「何か木が植えてあったと思うよ。」と答えてしまいました。すかさずその児童は、「何の木が植わっていたのですか？」と質問が返ってきました。「ごめんね。どんな木が植えてあったのか、校長先生は知りません。開校当時から駒岡小学校のことを知っている地域の方に聞いておきます。」と答え、その児童から大きな宿題をいただきました。



それから後援会の方々にお会いするたびに聞いてみましたが、なかなかその場所にどんな木が植わっていたかわかりませんでした。おそらく、何らかの原因で枯れてしまったために、丸い縁石だけが残ってしまい現在に至るのだと思いますが、開校当時から学校に関わっていた方々でも覚えていらっしゃるらないので、植わっていた木が枯れてしまってから、かなり長い年月が経ってしまったと思われます。

ある日、5年生の稲作の体験学習でお世話になっている小山孝様が学校にいらした時に、おたずねしてみました。

「たぶん、山吹が植わっていたのでは。」というお答えでした。「きっと、あそこは、子ども達を通る場所で、木の根元が踏み固められ、枯れてしまったのではないかな。」とも説明してくださいました。そのお話を聞いてあることを思い出し納得しました。駒岡小学校の校章は「山吹の花と葉」がデザインされているということを知ったことがあるからでした。

小山孝さんとの会話の中で「駒岡小学校に、山吹の木がないのが寂しいですね。」とつい言ってしまいました。2～3週間後、小山孝さんが学校にいらして「うちの庭に山吹があったから持ってきました。丈夫な木なので、多少日当たりが悪くても育つよ。」と教えていただき、早速、副校長と中庭に植え、朝会でも子どもたちに、校章のデザインの由来と、地域の方から「山吹」を寄付していたことについてお話をすることができました。



一人の児童の純粋な疑問から、開校当時からお世話になっている地域の方のおかげで、駒岡小学校の校章の由来を確かめることができ、そして駒岡小学校の象徴ともいえる「山吹」の木に再会することができました。

駒岡小学校の校章の由来について以下のような文章が残っています。ご参考まで。

- ◎駒岡の地は太田道灌のゆかりの地(兜塚)であり、校章は強く逞しく素朴で気品の高いイメージを持つ「山吹の花」を図案化したものです。「太田道灌と山吹伝説より」
- ◎校章の山吹は、八方へ広がる光が清く明るく美しく、周り葉は大気澄みたる清純さを意味し校歌そのものを表しています。
- ◎健康で逞しく、未来に伸びていく心意気を発揮しようという願いが込められています。

本年も、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。来年も変わらずよろしくお願いたします。「平成29年 良いお年をお迎えください。」

「マーチングクラブに楽器の寄付・農協祭りで発表」

「みらい応援」私募債の活動の一環として会社代表取締役、駒岡小学校卒業生の黒川哲美様より、駒岡小学校のマーチングクラブにアルトホルン2台、シンバル1台をご寄付いただきました。部員が増え楽器が不足していたので、大変ありがたいご寄付でした。ありがとうございました。